

「Q19 八戸市美術館について知りたいことはありますか？」でいただいた質問についてお答えします。

※類似の質問につきましては、まとめてお答えしています。

モニターからの質問・意見		回答
八戸市美術館が建った経緯やコンセプトなど		
1	何のために建てて、何で場所をあそこにしたのか。	旧八戸市美術館は、1969（昭和 44）年に建てられた旧税務署を改装した建物だったので、美術作品を収蔵するスペースがなく、建物の天井高が低く、展示に苦勞していたことから、長い間多くの市民の皆さんから新しい美術館の整備について期待されていました。 このような理由から、八戸市が進めてきた「アートのまちづくり」の中心となる施設として、市民の文化芸術の活動拠点としてふさわしい、街のにぎわいも創出できるよう、新しい美術館を整備することになりました。 現在の八戸市美術館が建っている場所は、八戸市の中心街に位置していて、旧美術館があった敷地のほかに、となりの旧青森銀行八戸支店や交番の土地を合わせた区域内で、それぞれの土地交換を含めて一体的に整備しました。 八戸市美術館は 2020（令和 2）年 12 月に完成して、2021（令和 3）年 11 月 3 日にオープンしました。 八戸市美術館は、アートを通した出会いが人を育み、人の成長がまちを創る「出会いと学びのアートファーム」をコンセプトとしています。これまでの美術品展示が中心だった美術館とは異なり、美術品の展示用のスペースに加えて、「ひと」が活動する空間を大きく確保することで、「もの」や「こと」を生み出す新しいかたちの美術館として、八戸市全体の活性化を図ることを目指しています。
2	なぜできたのか。	
3	どういうコンセプトなのか、新しくして何をしたいのか。	
4	八戸市美術館はいつ建ったのか。	

展示作品について		
5	誰のどのような作品が見れるのかを知りたいです。青森県立美術館には大きな犬の作品がありますが、そのような目玉となる作品があるのかを知りたいです。もし可能なのであれば、学校や中心街に八戸市美術館といえこれというような作品の写真が使われたポスターやマチニワの大きなスクリーンにその映像などが流してほしいなと思います。	八戸市美術館は、日本画、洋画、版画、書、彫刻、工芸など、各分野の美術品を約3,000点所有しています。主な収蔵作品は、橋本雪蕉、七尾英鳳、渡辺貞一、石橋宏一郎、月館れい、豊島弘尚、戸村茂樹、宇山博明、佐々木泰南、石橋忠三郎などの八戸ゆかりの作品を中心に、棟方志功、島岡達三、舟越保武といった著名な作家の作品などです。 収蔵作品の中でよく知られているのは、宮崎駿監督の映画「魔女の宅急便」に登場する絵画のモデルとなった、八戸市立湊中学校養護学級の共同制作版画《虹の上をとぶ船総集編Ⅱ 星空をペガサスと牛が飛んでいく》です。 また、今年度で開催した展覧会、「展示室の冒険」や「tupera tupera のかおてん。」では、会期中に展覧会をPRする動画をマチニワの大型スクリーンで放映しました。より多くの皆さんに知っていただけるよう、さらに力を入れてPRに取り組んでいきたいと思っています。
6	有名な作品は保有していますか？	
展覧会について		
7	絵の美しさ、楽しさ!!	市民の皆さんが、「絵の美しさ」や「楽しさ」を感じていただけるような、展覧会を企画していきたいと思っています。
8	僕は、最近、葛飾北斎や安藤広重など浮世絵やアイヌ絵など興味があります。そのような江戸時代などの芸術作品を展示する予定はありますか？	現時点では、江戸時代などの芸術作品に関する展覧会の開催は未定ですが、市民の皆さんのご希望に応えられるよう、さまざまなジャンルの展覧会をバランスよく企画していきたいと思っています。
9	今後どんなイベントや展示があるのか。	今後の展覧会の予定については、2024（令和6）年10月12日から2025（令和7）年1月13日までは「風のなかを飛ぶ種子 青森の教育版画」、2025（令和7）年2月15日から4月7日までは「八戸アーティストファイル」を開催します。また、来年夏には、「ポケモン×工芸展」が開催予定です。

10	どうやって展示物を決めているんですか？立候補？	美術にはたくさんのジャンルや作品があり、市民の皆さんが見たいと思う作品もさまざまであることから、館長や学芸員などのスタッフが全体のバランスを考えながら数年先の展覧会まで企画しています。
11	美術館のコンセプト、どんな基準で企画展を行っているか。	
12	誰がどのように展覧会を決めているのか。	
13	どんなものを展示しているのか。	八戸市美術館が収蔵している約3,000点の作品の中から、テーマに沿った作品を選んで展示したり、全国的に人気の高い巡回展を開催しています。 また、一般に貸出ししているギャラリーなどでは、プロやアマチュアを問わず、様々なジャンルの作品が展示されています。
14	どれくらいの作品が展示されているのか	八戸市美術館には、メインの企画展示室である「ホワイท์キューブ」や、毎回テーマを決めて所蔵作品を展示する「コレクションラボ」という部屋があります。どちらも数か月ごとに展示内容を変えるため、展示する作品数はその時々によって変わりますが、「ホワイท์キューブ」では100～300点程度、「コレクションラボ」では20～50点程度を展示しています。
15	どれくらいの作品を置いているのか	
16	何個の展示品があるのか	
17	飾られている作品はどのように運ばれて展示されているのか。	他の美術館などから運ばれてくる作品は、とても丁寧に梱包されて、温度・湿度・衝撃などを考慮のうえ、トラック・飛行機・船などで慎重に運ばれてきます。
イベントについて		
18	イベントで有料のものはあるのか	八戸市美術館では、展覧会に関連したギャラリートークやワークショップ、マエニワでの音楽演奏など、さまざまなイベントを行っており、ほとんどが無料となっています。
19	どういうイベントとかがやっているのか	
20	イベントはどんな事をしているか	
21	どういうイベントがあるか気になる	「ヨルニワ」や「音楽のタベ」というイベント名で、マエニワでジャズなどの演奏を聴くことができるイベントも行っています。キッチンカーも来ますので飲食しながら音楽を楽しんでいただくことができます。



		これからも市民の皆さんが楽しみ、美術館に親しんでいただけるようなイベントを今後も企画していきます。
広報について		
22	利用方法や、常設展示のお知らせについて知りたいです。	八戸市美術館では、利用案内のほか、展覧会やイベントなどの情報を印刷物（ポスター、チラシ）、ホームページや SNS（Facebook、X、Instagram、Youtube）で発信しています。 情報をチェックしていただいて、気に入った展覧会やイベントがあれば、ぜひ美術館まで足を運んでくださると、とても嬉しいです。 今後も、より多くの皆さんに当館の活動を知っていただけるよう、情報発信に力を入れて取り組んでいきたいと思います。
23	学校で配布されるチラシ等で展覧会の開催情報を受け取ることができています。	
24	美術館からどんな情報が発信されているか、知りたいです。いつも学校でもらうポスターしかイベント情報がわからないので。	
八戸市美術館の建物について		
25	設計に興味があり、間取りが気になる。	八戸市美術館の一番の特徴は「ジャイアントルーム」です。ジャイアントルームは移動棚やカーテン、家具によって自在に場所をつくることができ、来館者が自由に使える空間です。 アーティストの創作活動が行われたり、展覧会に関連したイベントやプロジェクトが行われたりする場所で、来館した皆さんが芸術文化活動に気軽に触れられる空間です。展覧会を開催していないとき、他の美術館は休館するのが普通ですが、八戸市美術館では展覧会がないときも開館し、市民の方がジャイアントルームをできるようにしています。 ジャイアントルームを囲うように、大きな展覧会が開催できるホワイトキューブや映像に関する展示ができるブラックキューブ、美術館の収蔵品を展示するコレクションラボ、ダンスや演劇でも利用できるスタジオ、一般の方の展示ができるギャラリーが配置されています。
26	1 番の見どころ、1 番みんなに見せたいところが知りたい。	



27	冷暖房のスイッチのオンオフの温度基準	美術品を保管する展示室や収蔵庫は 24 時間厳密に温湿度を管理しており、季節や保管する作品にもよりますが、温度は 22 度前後、湿度は 50%前後を基準に管理しています。
28	動きのある立体的な美術品の展示はできますか。	八戸市美術館では、一般の方も利用できる展示室の貸出しを行っています。大きさの制限や音の制限もありますが、人の力で運搬できる程度であれば立体的な美術品も展示することができます。
29	美術館の屋上は遊べますか？	八戸市美術館の屋上は利用できませんが、2 階の屋外テラスにはテーブルやイスがあり、自由に利用していただくことができます。
駐車場について		
30	駐車場の無料化があればもっと人が集まると思います。	八戸市美術館には、障がい者専用駐車場が 2 台分、貸館利用者専用の駐車場が 10 台分あり、いずれも無料です。一般観覧者の駐車場はありませんが、展覧会によっては、周辺の民間駐車場を利用してチケットを購入された方に対して駐車場代の割引サービスを行っています。 中心街であるため、周りには民間の駐車場があることから、今のところ駐車場を整備する予定はありません。
31	無料の駐車場があるか。	
32	今後駐車場を確保する予定はあるか。	
その他		
33	1 日に人が何人来るか	令和 5 年度は 109,277 人の来館者がありました。開館日数が 314 日間でしたので、1 日あたり 348 人の方が来館しました。
34	のべ何人が関わって建設しましたか？	八戸市美術館の建設に関わった人ののべ人数は正確にはとらえていませんが、設計事務所、建築・電気・設備・土木工事など、たくさんの会社に関わって建設されました。
35	スタッフの給料	スタッフの給料は、八戸市の条例によって、その人がどんな仕事をしているのか、どのくらい長く働いているかなどによって決められています。
36	年齢やタイプ別の活用の仕方（美術に興味がない中学生だったら～こんな使い方ができるよとか）	八戸市美術館では、さまざまなジャンルの美術品・アートを市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、展覧会や収蔵品の展示を数か月ごとに入れ替えています。音楽やものづくりなどのイベントも行っているので、気になった展覧会やイベントがあれば



		ぜひお越しいただきたいと思います。また、自由に利用できるジャイアントルームでは、飲食ができるほか、フリーWi-Fiや電源も利用できますので、暑い日には涼みに、寒い日には暖をとりに、気軽に美術館に来ていただければと思います。
--	--	---